

# 四国社会資本アーカイブスの取り組みが、 土木学会 建設マネジメント委員会 「グッド・プラクティス賞」を受賞

社会資本アーカイブス事務局

令和5年8月2日（水）土木学会講堂（東京都千代田区）において、土木学会建設マネジメント委員会より四国クリエイト協会が取り組んでまいりました四国社会資本アーカイブスがグッド・プラクティス賞を受賞いたしました。



## 《グッド・プラクティス賞》

建設マネジメントの実務において、創意工夫に富み建設マネジメントの発展に貢献が認められる意欲的な取り組みで、建設マネジメント委員会主催行事で発表されたもの

取り組みの名称 四国社会資本アーカイブス  
取り組み実施者 一般社団法人四国クリエイト協会  
発表行事 2022年12月 研究発表・討論会  
表彰理由

社会資本整備が国や地域の発展に貢献してきたことを広く伝えることを目的として、様々な情報を収集・整理して、その情報をインターネットで公開する取り組みである。本取り組みの特筆すべき点は以下の通りである。

- ①社会資本の範囲を広く捉え、情報源は自らの現地調査も含めて多岐に渡っていること
- ②情報の特性に応じた整理が行われていること
- ③インターネットを活用し、様々なコンテンツを用意してわかりやすく情報提供を行っていること

- ④今後の社会資本整備に当たり国民の関心と理解を得るための機能を持つほか、社会資本のストック効果に関する情報を収集し、蓄積されたデータを用いた事業の事後評価を可能にしていること
- ⑤取組みが一過性のものではなく、アーカイブスを補完する情報をWEBや冊子で提供するとともに、シンポジウムを開催してアーカイブスの報告・評価を行なうなど、本取組みの効果を上げるべく不断の努力がなされていること
- ⑥実践的な取組みであることが評価され、アーカイブスへのアクセス数が着実に増えていること

以上のことから、建設マネジメント分野のグッド・プラクティスに相応しい取組みと認めるものである。

## 《四国社会資本アーカイブスについて》



<https://www.shikoku-shakaishihon.com>

四国クリエイイト協会では、平成27年度から「四国社会資本アーカイブス検討委員会」（委員長：柏谷増男愛媛大学名誉教授）を発足し、委員会主導のもと四国各地で行われた社会資本整備に関する情報を収集、整理してインターネットを通じ情報提供する事業を実施して参りました。

平成29年12月より明治以降の国直轄の河川、道路の情報のうち、国及び公団関連資料に基づく情報を提供、その後順次情報を加え令和2年7月には、鉄道、港湾、空港、電力、その他の事業（主要な市街地再開発、ため池・用水・公園・流域下水道等）に関する情報を加えて開示いたしました。また、11月12日には土木学会地域マネジメント小委員会との共催で「四国の社会資本整備の記録と技術力の継承」と題し、シンポジウムを開催いたしました。

### ◇対象とする社会資本の範囲

- ・河川（直轄河川・ダム・砂防・地滑り・海岸、機構ダム、主要な県事業等）
- ・道路（高規格幹線道路、直轄国道、主要な県事業等）
- ・鉄道（JR、第三セクター鉄道、私鉄）

- ・港湾・空港（重要港湾、空港）
- ・電力（主要な水力発電所、火力発電所、原子力発電所）
- ・その他（主要な市街地開発、ため池、用水、公園、流域下水道等）

#### ◇提供されるデータ

提供されるデータ数は令和5年8月現在、データは1,744件、現地調査は668箇所となっており、逐次資料を収集しデータの更新、追加を実施しています。

#### 提供する情報の主な内容

##### ①主要年表

直轄の河川・道路ごとに主要年表を作成している。主要年表は、一般的事項と当該事業に関する事項に区分し、一般的事項には法制度、計画等を、当該事業に関する事項には主要な事業内容（事業化、工事着手、竣工、供用等）、事業実施の背景となった災害等を簡潔に記載。

##### ②国道ルート変遷図

国道ルート変遷図は、直轄国道について、国土地理院の5万分の1の地形図をベースにして、工事誌や市町村史等を参考にして作成。

##### ③主要事業の概要

収集した資料に一定量の情報（200字程度の情報）が掲載されている主要事業について、整理するとともに、整理に用いた情報源を表示。

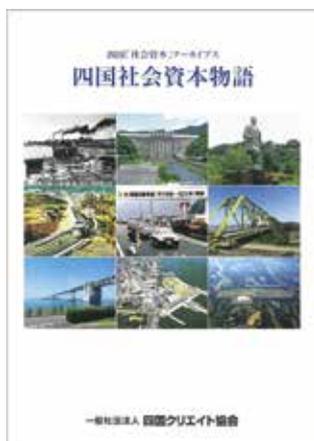
また、当該の社会資本に関連する位置情報、構造物や石碑等の写真提供。

##### ④社会資本物語を刊行

四国に大きな影響をおよぼしたいくつかの社会資本をテーマ別に取り上げ、著名な事業の進行過程や合意形成に特段の努力が注がれた案件など代表的な事業14話を物語りとして編集。

##### ⑤社会資本の碑を刊行

四国アーカイブスに掲載されている四国の社会資本にまつわる111箇所の記念碑、石碑を取り上げています。



(A4版88頁) R2.11発行



(A4版251頁) R4.5発行

#### ⑥社会資本アーカイブス紹介動画の作成

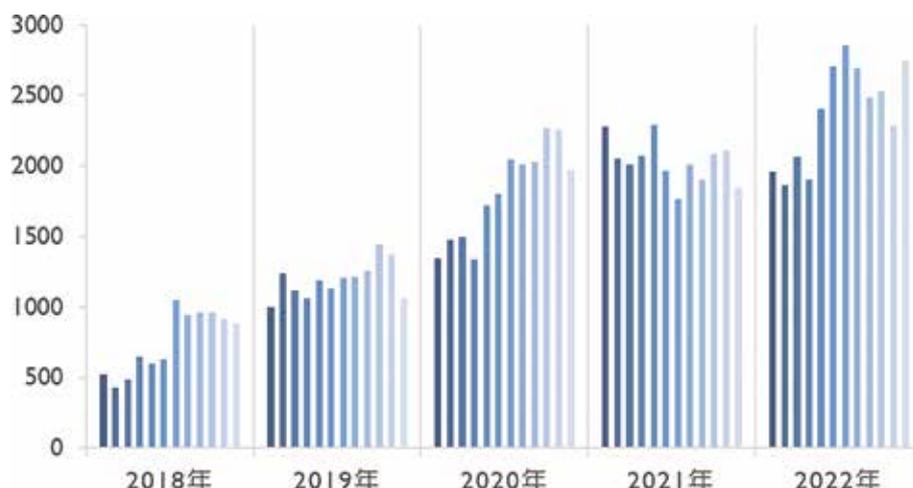
令和3年4月より、社会資本アーカイブスの紹介動画を作成しYou Tubeで配信しています。

動画はマスコットを使用し質問形式で使用方法を紹介するもので小学生・中学生にも理解いただけるように作成しています。



アーカイブスへのアクセス数は、第一弾を開示した平成29年12月から令和5年3月までの間で105,380件（平均1,647件/月）

段階別の月平均アクセス数は、第一弾863件、第二弾1,392件、第三弾2,129件へと着実に増加しています。



四国社会資本アーカイブスの作成にあたりましては、愛媛大学の柏谷名誉教授をはじめとする4大学の学識者の皆様、国土交通省様をはじめ、徳島県、香川県、愛媛県、高知県の土木関係部局の皆様からご指導ご協力をいただきました。また多くの会員の皆様より資料の提供、ご助言をいただきました。ここに改めて御礼申し上げます。

四国社会資本アーカイブスでは3つのことをお伝えしたいと考えています。

1. 私たちが生活している基盤は、先人が長年にわたって努力、工夫して築いてきてくれた土台の上に成り立っています。
2. 多くの人々がそれぞれの立場で社会資本整備に関わってきました。
3. 社会資本整備を活かす取り組みが四国の地域づくりに貢献してきました。

四国社会資本アーカイブスができるだけ多くの人に活用され、四国の社会資本整備について人々の理解と共感が得られるよう。また、過去に作成された社会資本整備に関する資料が散逸しないように少しでも貢献したいと考えています。